

ウルグアイ経済報告（4月分）

【概況】

- 4月の消費者物価指数（対前年同月比）は、6.46%となり、4ヶ月連続で下降傾向にあるほか、2ヶ月連続で政府のインフレ目標（3～7%）の枠内に入った。運輸、保健、娯楽・文化以外の分野で前年同月比減となった。
- 4月の対ドル為替レートは平均28.40ペソと、ここ9ヶ月は大きな変化が無く、安定した状態が続いている。
- 4月の輸出額は、前年同月比で25.9%増と大幅に増加し、2016年11月以降6ヶ月連続増となった。2017年1月～4月の累計でも、前年同期比14.2%増と大きく増加した。
- 4月の輸出額が大きく増加した理由としては、輸出品第1位の大豆（前年同期比312%増）、第2位の牛肉（同6%増）、第3位のセルロース（同20%増）などの輸出額が増加したことが挙げられる。一方、輸出品第4位の炭酸飲料原料（同47%減）、第5位の乳製品（同19%減）は前年同期比で大きく減少した。
- 大豆は2003年以来ウルグアイで生産高最大の農作物であるが、2009年によりやうく主要三大輸出品となった。2006年には輸出額全体の僅か3%を占める（第10位の輸出品）に過ぎなかったが、2016年には同10%（同第3位）を占めるまでになった。また、2016年には、世界第6位の大豆の輸出国となっている（第1位米国、第2位ブラジル、第3位アルゼンチン、第4位パラグアイ、第5位カナダ）。
- 大豆の最大の輸出先は中国であり、2016年には輸出額全体の73%を占めた。第2位の輸出先であるEUが占める割合は14%（ドイツ7%、オランダ5%、ギリシャ1%など）であり、大きく差が開いている。一方、主要輸出相手国では中国に対してのみ関税（3%）を支払っており、2016年には関税として約21百万ドルを支払った計算となる。
- 2017年、ウルグアイの大豆の作付面積は前年とほぼ同じであり、市場価格は前年比12%高が見込まれていることから、大豆の輸出額は大幅に増加することが期待されている。

【トピック】

1 日・ウルグアイ投資協定

14日、「投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とウルグアイ東方共和国との間の協定」が発効した。

2 日本ハムによるウルグアイ食肉処理会社の株式取得

28日付「エル・パイソ」紙は、日本ハム株式会社がウルグアイ食肉処理会社 Breedes&Packers Uruguay S.A. 社の株式を100%取得した旨報じた。

3 メルコスール投資協力円滑化議定書

7日、メルコスール加盟国外相は、メルコスール投資協力円滑化議定書に署名した。18日付ウルグアイ外務省のプレスリリースによれば、同議定書の目的は、メルコスール諸国間で直接投資を円滑に行う上での協力推進であり、また、メルコスール域内市場の強化及び雇用創出を促進する経済・ビジネスのテーマが改めて重視されていることを反映している。

4 メルコスール・太平洋同盟閣僚会議

7日、ブエノスアイレスでメルコスール・太平洋同盟閣僚会議が開催され、ウルグアイからニン・ノボア外相が出席した。関係国の外務大臣及び貿易・生産担当大臣は、域内経済統合プロセスの進捗状況の確認及び共通関心事項の選定を行った。特に、ビジネスにおける便宜の提供、税関協力、ビジネス振興、中小企業支援、潜在的域内バリューチェーンの特定といった分野で両地域ブロックが関係を強化することで合意した。また、域内統合に関し、両地域ブロック全加盟国がメンバーであるラテンアメリカ統合連合（ALADI）の役割が強調された。

また、同会議のマージンで、メルコスール各国外相とバラクリシュナン・シンガポール外相の会談が行われ、メルコスールがシンガポールとの経済連携を推進し、それを基礎として後に、シンガポールがASEAN議長国を務める2018年に、ASEAN諸国全体に適用することで合意された。

5 メルコスールにおけるベネズエラによる仲裁プロセス開始要請

25日、エクトル・コンスタント共同市場グループ（GMC）ベネズエラ代表は、オスカル・パストーレ・メルコスール事務局官房長に対し、ベネズエラがアルゼンチンとの輪番議長国を巡る意見の対立を解決するための仲裁プロセスを開始する意向である旨をメルコスール加盟各国に通知するよう求めた。26日付「エル・pais」紙によれば、コンスタント代表は、メルコスール事務局前で記者会見を行い、仲裁プロセスの開始はベネズエラとして最初の選択肢ではなかったとしつつ、2016年11月から行われてきた政治的合意を得るための会合が失敗したため、仲裁プロセスの開始を求めざるを得なかったと説明した。

6 公的債務残高

3日、中央銀行（BCU）は、2016年末の公的純債務残高（総債務残高から外貨準備などの政府資産を差し引いたもの）が16,155百万ドルに達したと発表した。4日付「エル・pais」紙によれば、2016年末の純債務残高は前年比28.9%増であり、前年比35.4%を記録した2009年以来の増加であった。対GDP比では、2015年末の23.5%から、2016年末には30.8%に悪化した。

7 製造業生産活動指数

20日、国家統計院（INE）は、2017年2月の製造業生産活動指数（IVF）が前年同月比11.7%減、石油精製を除くと同2.0%減となった旨発表した。直近12ヶ月で見ると、IVFは0.9%減、石油精製を除いたものは同0.7%減となった。

8 新車販売台数

19日付「エル・pais」紙は、自動車メーカー代理店協会（ASCOMA）が2017年3月の新車販売台数が前年同月比25%増となったと発表した旨報じた。同販売台数は、前月比でも22.5%増と大幅増となり、販売台数は12月を除く昨年1年間の月別台数を上回った。2017年3月に最も新車販売台数が多かったメーカーはフィアットであり、次いでフォルクスワーゲン、シボレー、ルノー、スズキの順となった。

主な経済指標

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月
消費者物価指数 (%)	8.45	8.10	8.10	8.27	7.09	6.71	6.46
失業率 (%)	7.10	7.74	7.74	8.12	8.21	9.02	未確定
平均賃金指数 (%)	10.25	10.77	11.65	9.91	9.62	9.36	未確定
対ドル為替(ペソ)(平均)	28.15	28.73	28.84	28.61	28.46	28.41	28.40
新車売上台数	3,862	4,835	7,245	3,894	4,050	4,835	4,360

出所：国家統計院 (INE)、ウルグアイ自動車販売協会 (ACAU)

消費者物価指数

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月
全体	8.45	8.10	8.10	8.27	7.09	6.71	6.46
食品・ノンアルコール飲料	9.10	7.72	7.23	6.31	4.49	4.09	3.50
アルコール飲料・タバコ	14.04	13.82	13.95	21.99	12.89	12.18	11.95
衣服・靴	9.28	9.77	9.43	8.92	8.53	7.70	5.97
住宅	8.28	8.07	8.82	10.01	8.73	8.84	8.74
家具・家庭用品	9.38	9.27	9.14	8.74	9.81	8.27	7.86
保健	8.30	8.50	8.12	8.57	8.31	8.58	8.68
運輸	2.56	3.62	3.93	4.55	3.95	3.96	4.10
通信	5.95	5.82	5.79	5.03	5.23	5.20	5.19
娯楽・文化	4.94	4.37	4.49	4.44	3.87	3.36	3.45
教育	11.85	11.92	11.88	11.47	11.54	11.37	11.29
レストラン・ホテル	10.38	10.36	10.94	10.45	10.19	9.29	9.11
その他の財・サービス	10.27	9.55	9.57	8.76	7.55	7.05	7.42

出所：国家統計院 (INE)

貿易統計

		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月
輸出	額 (百万ドル)	557	598	629	517	567	603	726
	前年同月比 (%)	-6.3	5.8	10.0	16.7	5.1	0.8	25.9
	1 月からの累計 (百万ドル)	5,953	6,527	7,087	517	1,075	1,619	2,318
	前年同期比 (%)	-10.6	-9.0	-8.0	16.7	14.6	8.0	14.2
輸入	額 (百万ドル)	611	653	645	565	484	690	547
	前年同月比 (%)	-12.0	5.4	0.6	12.0	-14.5	16.0	-29.7
	1 月からの累計 (百万ドル)	6,093	6,744	7,387	565	1,049	1,738	2,285
	前年同期比 (%)	-16.4	-14.7	-13.6	12.0	-1.8	4.5	-6.4

出所：Uruguay XXI (ウルグアイのフリーゾーンを含まず。毎月の輸出額、輸出累計額は暫定値)

製造業指数(%)

	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
全体	-0.48	-0.55	-0.26	0.26	1.83	-5.09	-7.38
全体（石油精製除く）	-2.28	-2.44	-1.66	-0.98	2.85	0.33	1.43
食品・飲料	-3.07	-2.54	-1.64	-0.75	8.61	4.81	5.17
繊維製品	-13.38	-13.37	-11.79	-10.69	-3.18	-13.77	-10.37
衣服	-22.05	-22.83	-22.26	-19.99	-44.75	-34.02	-22.69
皮等	-1.31	-1.29	-0.04	-0.39	-15.31	-6.97	-7.66
木材及び関連品	-0.69	-0.39	0.68	0.63	-4.80	-2.27	-4.54
紙等	3.35	1.35	4.00	4.05	-4.27	-2.51	-2.07
製本	-4.48	-5.50	-5.93	-6.49	-7.69	-10.33	-5.76
石油派製品等	10.04	10.57	7.86	7.44	-2.80	-31.25	-52.64
化学品	5.81	4.94	4.72	5.70	10.63	4.51	5.35
皮・プラスチック製品	-16.98	-16.37	-16.34	-13.87	-11.56	-17.73	-11.39
非金属鉱物	-7.19	-8.69	-8.57	-6.79	-4.32	-9.30	-4.48
礎金属	0.58	7.18	6.55	5.76	11.30	-7.63	-3.43
金属・機会・機器	1.75	3.04	3.86	4.74	24.07	20.00	14.79
電子機器以外の機械	2.41	1.83	1.67	2.27	12.62	23.69	27.33
電子機器・機械	-16.11	-19.23	-20.24	-18.24	-18.86	-22.05	-17.70
医療機器等	18.32	8.91	3.58	0.90	-15.81	-24.29	-19.35
自動車等	-77.25	-77.60	-76.80	-76.05	13.53	76.46	71.49
その他輸送機器	-30.72	-20.28	-17.44	-13.22	64.65	68.28	36.51
家具等	-14.86	-15.33	-14.97	-16.03	-3.97	0.75	4.58

出所：国家統計院（INE）

（了）